

タウンミーティング（西条校区） 開催報告

- 日 時 令和元年 9 月 26 日（木） 午後 6 時 30 分から
- 場 所 西条公民館 2 階ホール
- 参加者 西条校区連合自治会長、西条校区連合自治会防火・防災部長、西条校区連合自治会人権部長、西条校区連合自治会環境部長、西条校区連合自治会婦人部長、西条地区健全育成協議会長、西条地区民生児童委員協議会長、西条校区婦人会長、西条小学校 PTA 会長
消防団西条分団長
市長 経営戦略部長、市民協働推進課長、シティプロモーション推進課長、地域組織係長、広聴係長
- 傍聴者 26 人
- 次第
 - 1 開会
 - 2 挨拶（西条校区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について《市提案》
 - (1) 主要事業の説明（市長）
 - 5 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
 - (1) 課題等の経緯等内容説明（市民協働推進課長）
 - 6 参加者自己紹介
 - 7 地域課題②「コミュニティ（地域社会）をどのように維持し活性化していくか」について《地域提案》
 - (1) 意見交換
 - 8 その他
 - 9 まとめ・閉会
 - (1) まとめ（市長）
 - (2) 挨拶（西条校区連合自治会長）

○会議録

1 挨拶

【連合自治会長】

皆様、こんばんは。このタウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主催となり、地域が主導して開催するもので、市長に地元へおいでいただき、市の現状や今後の市政方針の説明に加え、地域住民と市と一緒に地域の課題について話し合うことで、私たちの声をいかした愛着の持てる地域づくりを行うことを目的としている。事前に各代表から課題等を提出していただいているが、その中から今日は、「これからの地域づくり」と「コミュニティ（地域社会）をどのように維持し活性化していくか」について話し合う。こういった、地域課題について市長を交えて、地域の皆で話し合う機会は初めてだと思うので、今日は地域づくりの第一歩として、各団体それぞれの意見を共有することを目標に、次回に繋がる会議を皆様の協力をいただきながら、進めたいと考えているので、よろしく願います。

【市長】

皆様、こんばんは。本日は、西条地域のステークスホルダーの皆様にご集まりいただき感謝申し上げます。このタウンミーティングは6月22日にスタートし、約5ヶ月をかけて実施している。目的の1つとしては、来年度の予算に反映すべきものは反映したいと考えている。また、やり方は手探りではあるが、テーマを決め議論を深めていき、これからの議論の始まりとしたい。西条市も多くの課題を抱えながら進んでいるが、地域の課題解決を進め、より良い西条校区づくり、西条市づくりをして参りたいと考えている。限られた時間ではあるが、よろしく願います。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料(1))

3 地域課題①「これからの地域づくり」について

(1) 課題等の経緯等内容説明

【市民協働推進課長】(参照別紙資料(2))

4 自己紹介(西条校区をこんな風にしたい)

【参加者】

人と人とのつながりが広がり、西条校区に住んで良かったと思えるような地域にしたい。

【参加者】

人権差別のない社会を目指し、小地域懇談会の参加者が増えるようにしていきたい。

老人会も関係しているので、老人会への参加も増やし、高齢者が生き生きと過ごせる地域に。

【参加者】

地区には沢山の行事があることを伝えたい。これらに沢山の人が積極的に参加し、人との繋がりを大切にする地域に。

【参加者】

PTA と関係が強く色々やっており、個人としては子ども達に積極的に声掛けをしている。毎朝挨拶をするようにしている。

【参加者】

昔は大家族が多かったが、最近は核家族が増え、介護施設もできて民生委員としては楽になったが、反面、引きこもりが増えたように感じる。若い人が来て世帯数が増えて良いが、災害時など協力できるのか不安に思う。高齢者と若い世帯との接点があれば良いと思う。

【参加者】

前会長が長くされ、今年交代しばかりでまだよくわからないが、相談を受けるのは避難場所への経路が分かりにくいので教えてほしいと、また、空き家に若い人がたむろしているのが怖いと言われるのでどうにかできないかと思っている。

【参加者】

子ども達のがびのびすくすく健康に育ち、それを保護者だけでなく地域全体が見守れる地域にしたい。

【参加者】

大地震が起きた場合、火災、家屋倒壊が予想され消防団はそちらに手を取られ、津波に対する避難まで手が回らないのではないかと感じている。自治会や地域の皆さんが高齢者や体の不自由な方を普段から把握していただき、自助共助によって全員で避難ができるよう備えることができる地域になるといい。

5 地域課題②「コミュニティ(地域社会)をどのように維持し活性化していくか」について

【地域組織係長】

自己紹介で出た地域の課題や、地域をこうしていきたいという様々な意見が出た。この場では何かを解決するといったものではなく、皆様の考えや思いを共有する場として進めてまいりたい。地域の絆、人との繋がり、地域での子育て環境などの意見があったが、一方で、人口減少や少子高齢化、加えて地域社会の変容などにより、地域課題として、これまでと変わってきている、難しくなっているものなどがあると思われる。各種団体でも、これまでは団体で活動できていたものが、役職が固定される、地域行事への参加が減少するなど、様々な課題が出てきている現状があると思う。皆様の地域を見渡してみて、気になることや困っていること、各団体の課題のようなものはないか。

【参加者】

H30年度に市民協働推進課がアンケートを実施しているが、地域が取り組む優先課題として、1「防災」、2「高齢者福祉」、3「親睦交流を図る」という結果が出ている。防災については、重大災害もなく西条校区は生活環境も良いが、共助という点で意識が低い。自主防災組織等が一団となって取り組む必要があると思うが、情報共有や交流を深め、地域住民が関心を高めることで、共助のレベルアップに努めたい。連合自治会においては防災・減災に関する資料を作成し啓発を行うほか、避難所で使用される資材の紹介も行っている。防災活動による地域活性化に努めたい。計画されている防災研修等へも積極的な参加をお願いしたい。

高齢者福祉については、西条校区の高齢化率は23%であるが、民生、社協の皆さんが中心となり積極的に活動している。活動内容等の広報をしっかりといただき、地域の関心を高め、行事への参加を促すよう努めていただきたい。各自治会が世帯台帳を作成し、子どもや高齢者の見守りに努めていく必要がある。各自治会では独居老人等への声掛け運動に努めていただき、連合自治会でも高齢者に喜んでいただける行事を実施してはどうか。親睦・交流については、地域運動会への参加が非常に少なくなっているが、自治会の中でも個人的に参加したい人もいると思う。これらの人が参加できるよう連合自治会でも考えていただきたい。連合自治会のレクリエーション大会では、子どもの参加を促す必要があり、世代間交流を行うことは地域の活性化にも繋がると思う。また、だんじりがある自治会は運営のパワーを地域活性化に活かして欲しい。公民館行事等も声掛けをし、参加を促すとともに自治会加入の運動も推進する。西条校区の自治会加入率は約50%でかなり低い。入会率を上げる必要がある。

課題は多いが他の地域を参考にし、行政の協力を受けながら地域が一丸となって取り組む時期が来ていると思う。

【地域組織係長】

住民ニーズというところでは、防災・減災対策が高い。一方、地域行事への参加が少ないという点で他の意見はないか。

【参加者】

運動会への参加が少ないことは、前々から検討している。自治会へ加入していない方の参加について議論になった事もあり、個人の参加については課題だと考えている。

レクリエーション大会については、誰にでもできるスポーツに変えてきている。またお年寄りも子どもも参加できるような取り組みも考えていきたい。ミニ防災という種目を取り入れ、子どもたちの反応も良かった。防災といった面も取り入れるなど、これからも工夫したい。今後も、子どもとお年寄りが課題であると考えており、共有する時間が持てるような場所が大切ではないかと考えている。

【地域組織係長】

先程あった防災を既存の取組みの中に取り入れていくことで参加を増やしていくというような視点は必要であると思う。先進事例として各種団体が一緒になり防災大運動会というものを開催している例もあり、話し合いの場を持ち連携してそれぞれの課題解決に繋げるような取り組みが必要であると思われる。また、子どもの環境では、従来から世代間交流というものがあるが、意見はないか。

【参加者】

スポーツ少年団の指導者をしているが、総合型地域スポーツクラブという先進事例を聞いた。スポーツを通じて地域の交流を深める活動である。地域のスポーツクラブを皆さんで応援できないか。自らの経験上、昔は練習中も地域の方々が応援に来ていて、ここで地域とのコミュニケーションが生まれ、輪が広がっていたのではないか。最近では、子どもの関係者以外ではそのような状況は全く見られない。運動会もレクリエーション大会もそうであるが、子どもたちを地域が追いかけていく、将来のアスリートを育てていく地域、コミュニティの作り方があっても良いと思う。

【地域組織係長】

コミュニティを一つの型にはめるのではなく、色々な視点から考えれば多様な人が暮らす中で新しい時代に沿ったやり方が見出せるのではないか。若い世代と高齢者の交流を活性化するという点でアイデアとか意見はないか。

【参加者】

メリット、デメリットの両面があり、とりあえず自治会に加入いただくなど、なかなか難しいところではある。

【参加者】

最近、近隣同士の興味・関心が希薄になってきているようだ。何かあったら助けるような気持ちにお互いになれるようになれば良いまちなになると思う。若い人たちを防災に引き込むのが難しい。良い方法が何かないかと思っているが、どうすれば良いというところまでは中々至らない。

【地域組織係長】

今回、皆様でこういった地域にしていきたいという情報交換の場をもっていただいたが、できればこういう取組みを連合自治会だけでなく、様々な団体と行いながら横に繋がっていき、さらに広く参加していただくために、地域づくりの講演会・座談会を開催してみるとか、これからは、地域の課題は何かを明らかにしなければ地域づくりは進まない。他の地域もタウンミーティングをきっかけに話し合いを進めているところもあり、市も一緒に伴走しながら進めたいと考えている。

【参加者】

新しい方で避難経路が分からない方がいると聞いたが、防災マップを作成するための作業があるので、是非参加を促していただきたい。

【参加者】

大阪の方からいらした方が、避難経路が分かりにくいという話もあった。

【参加者】

そういった方への取組みであるので是非参加して欲しい。

【参加者】

慰問で炭坑節を踊ったが、踊りに参加した高齢者がいた。昔は西条市でも盆踊りがあったが、そういうもので高齢者も若い人も一緒になって西条校区を盛り上げたらどうか。婦人会も若い人が加入せず寂しくなっている。

【地域組織係長】

それでは、時間の都合もあり、次の機会にということで意見交換を終了させていただく。

6 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

（参照別紙資料（3））

7 まとめ・閉会

【市長】

地域づくりというのはやはり市民の皆様が主役であり、橘の場合を例に出すと、あそこまでの取組になるのに2年かかっている。地域で何回も話し合ったが、老若男女が本気になり、この地域をどうするかという話し合いが大事であった。西条校区も時間がかかるかもしれないが、これがきっかけとなってもらいたいと思うし、ここから始めてもらいたい。以前、老人会クラブの加入を促進させるために吉本新喜劇への特別優待をインセンティブとして考えたが、老人クラブには賛同を得られず、結果、それが笑いで健康づくりへ繋がった。面白いこと、楽しいこと、興味のあることがあれば人は引き寄せられると思うが、それを見出すために話し合いというものが必要になってくると思っている。限られたメンバーでの話し合いには限界があり、この枠をもう少し広げて、地域のリーダーだけという形ではなく、若い方にも入っていただきたいと思っている。最近、防災過保護という言葉があり、行政に自分の命を全て預けるのかという主旨である。こういった防災過保護にならないためには、やはり「皆で参加しよう」ということが必要になってくるとともに、これがなければまちの活性化には繋がらないと思う。

一方で自治会への加入率が悪いという話もあった。祭りの参加を理由にした未加入やゴミの収集の問題もあるが、これからはそのようなことも取っ払い、賛否があるのは承知しているが、どうやって人を囲っていくかということを考えないと西条校区とて難しくなってくると思う。

では、いつからやるのか。次の代で良いと思うか、今やらないと先行地域に逃げられるぞと思うかということである。大町が元の組織を崩すのに大変苦勞したが、私は、当時の会長や地域のやる気を感じた。地域の本気がなければ作れない、その時に行政は知らない顔をするはずはない、しっかりと伴走しながら、皆様と一緒に考えて参りたい。私も先頭に立って進めて参るので、一緒になってまちづくりをしましょうという熱い気持ちをお願いしたい。本日は、感謝申し

上げる。

【連合自治会長】

本日は、お忙しい中、市長や地域の皆様にお出席いただき、西条校区に関する課題に目を向け、共有することができた。各団体に帰られても、今日の地域防災対策や、団体の活動について、更に話し合いを広げていただき、今後この西条校区をどのように盛り上げていくか、それぞれの団体で、それぞれの立場で引き続き考え、話し合いを続けて参りたい。また、行政の方には、活動に際しいろいろと相談や支援をお願いします。今後も市と協力しながら、住民同士が支え合える、地域づくりを目指し盛り上げていけたらと思うので、よろしくをお願いします。本日は感謝申し上げます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

